

工事説明書 脱水洗濯機

PW9C
タイプ W3...



Electrolux
PROFESSIONAL

安全上のご注意

- ◎ 機械の性能を十分発揮させ、かつ安全にご使用いただくため、据え付け、電気工事、配管工事は、それぞれの専門の工事業者が行ってください。
- ◎ 必ず据え付けの前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。
- ◎ ここに示した注意事項は

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意すべき内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は発火注意）が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為の強制）が描かれています。



警告

据え付け故事を行う方へ

製品を安全に正しくご使用いただくために工事説明書の指示に従って工事をしてください。

据え付け工事終了後に取り扱い説明に従って取り扱い上の注意をオーナーに説明してください。



本製品は水洗い用です

揮発性、また可燃性の液体を含む柔軟剤及びドライクリーニング用溶剤は使用しないでください。



⚠ 警告

フロントパネル、リアパネル、 トップパネルを開いたまま 運転しない



フロントパネル、リアパネル、およびトップパネルを開いたまま運転すると可動部や回転部に触れ、けがをすることや故障の原因となります。

操作パネルに水をかけない



操作パネルには、水をかけたり、濡れた手で触れたりしないでください。感電や漏電による火災のおそれがあります。

切替スイッチを操作する ときは



PCボードの切替スイッチを操作するとき、および機械の点検やお手入れを行うときは、必ず電源を切ってから行って下さい。感電や回転部、振動部への接触によるけがのおそれがあります。

分解や改造はしない



自分で絶対に分解や改造はしないでください。感電やショートによる火災、また異常動作によるけがのおそれがあります。



湿気の多い場所では漏電遮断器を必ず取り付ける



湿気や水気のある場所に据え付けるときは、漏電遮断器を必ず取り付けてください。故障や漏電した場合、感電することやけががあります。

機械を廃棄するときは



洗濯機を廃棄される場合は、子供のいたずらによるとじ込め事故防止のため、前面のドアを取り外してください。産業廃棄物処理指定業者へ廃棄を依頼してください。

屋外には設置しない



この洗濯機は室内用です、屋外で風雨にさらされる場所に置くと、感電や故障の原因となるので、必ず室内に設置してください。



アースは確実に取り付ける



万一の感電や落雷時における事故防止および制御回路の耐ノイズ性を向上させるために、必ず本洗濯機専用のアースを設けてください。工事は接地工事についての指示に従ってください。



ドア用ロック装置は短絡しない



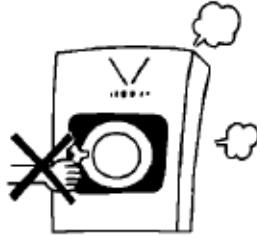
絶対にドア用ロック装置は短絡しないでください。異常動作によるけがのおそれがあります。

注意

フロントパネルとドラム外槽とのすきまに手を入れない



フロントパネルとドラム外槽との隙間には手を入れないでください。運転中、ドラム外槽は振動しますので、すきまに手を入れていると挟まれてけがをすることがあります。



据付け工事の際、電源仕様を確認する



据え付け工事の際には銘板を確認して使用する電源が適合しているかどうか確かめてください。電源仕様が異なっていると故障や異常動作によるけがのおそれがあります。

洗濯機の後ろ側などには入らない



洗濯機の後ろ側に入ったり、上に乗ったりしないでください。モーター、プーリーなどの回転物、あるいは給湯ホースなどの高温部に触れたりして、けがや、やけどをすることがあります。

また、店内では仕切などを設けて、お客様（特に幼児）が機器の後ろに入ったり、上に乗ったりすることができないようにしてください。



目次

目次

1	安全対策について	9
1.1	一般安全情報	10
1.2	商業用途専用	10
1.3	記号	10
2	保証条件と例外事項	11
3	技術データ	12
3.1	図面	12
3.2	技術データ	13
3.3	接続部	13
4	設置	14
4.1	開梱	14
4.2	据付場所	15
4.3	機械関連のインストール	16
5	給水の接続	17
6	排水の接続	17
7	電気接続	18
7.1	電気関連の据付	18
7.2	電気接続	18
7.3	機械の接続	19
7.4	発熱体の変換	20
7.4.1	380-415V 3AC から 220-240V 3AC へ変換できます。	20
7.4.2	機械は、400-415V 3AC から230-240V 1AC まで、電源を少なく変換することができます。	21
8	最初の電源接続	22
8.1	使用言語を選択してください。	22
8.2	時間と日付の設定	22
9	機能確認	22
10	廃棄に関する情報	23
10.1	本機の耐用年数終了時の廃棄	23
10.2	梱包材の廃棄	23

製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

1 安全対策について

- 資格のある人員のみが修理を行うことができます。
- 修理には認証された部品や付属品、消耗品のみを使用してください。
- 布地の水洗い用洗剤のみを使用してください。ドライクリーニング剤の使用は絶対に避けてください。
- 新しい給水ホースを機械に接続してください。中古の給水ホースは使用しないでください。
- 本機のドアロックを改ざんしてかけなくてすむようにすることは、いかなる状況下でもおやめください。
- 本機械に不具合が生じた場合、担当者にただちにこの問題を報告することが必要です。使用者および他の方々の安全のためにも重要です。
- 本機を改造しないでください。
- サービスの実施やパーツ修理の際は、電源ケーブルは抜いてください。
- 電源がオフになったら、オペレーターは機械が全てのアクセスポイントからオフになっている（プラグが外された状態）ことを確認する必要があります。機械の製造または設置理由からこれが不可能な場合、分離位置にロックシステムを設置することでオフにする方法が提供されなければなりません。
- 配線規則の順守：本機の据付や点検操作の前に、マルチポールスイッチを取り付けてください。
- 機械のデータプレートに異なる定格電圧もしくは異なる定格周波数（/で区切られています）が表示されている場合は、必要な定格電圧または定格周波数で作動するように器具を調整する手順が設置マニュアルに記載されています。
- ベース部分の開口部がじゅうたんなどで塞がれないようにしてください。
- 乾燥させる衣類の最大量：9 kg
- 作業場での荷重排出音圧：
 - 洗濯時：70 dB(A)以下。
 - 脱水時：70 dB(A)以下。
- 最大の入水圧800 kPa / 116 psi
- 最小の入水圧50 kPa / 8 psi
- 次の国に関する追加要件：AT、BE、BG、HR、CY、CZ、DK、EE、FI、FR、DE、GR、HU、IS、IE、IT、LV、LT、LU、MT、NL、NO、PL、PT、RO、SK、SI、ES、SE、CH、TR、UK：
 - 本機械は公共エリアで使用することができます。
 - 8歳以上のお子様、ならびに身体的、感覚的または知的能力が低下している、あるいは経験および知識がない方は、監視の下、または器具の安全な使用方法の指導を受け、伴う危険について理解した後、本機を使用することができます。お子様は本機を使って遊ばないものとします。クリーニングおよびユーザーによるメンテナンスを、監視なしでお子様が行わないものとします。
- 他の国の追加要件：
 - 身体、感覚、精神的能力が減少している方、または知識や経験が不足している方（子どもを含む）は、安全性に関する責任を持つ人物から、機器の使用について監督または指示を受けない限り、本機器を使用することができません。お子様が本機で遊ばないよう監視してください。
 - 本装置は、家庭および以下のような場所や目的でのご使用を想定しています。（IEC 60335-2-7）店舗内の厨房、事務所とその他の作業環境、農家、ホテルの顧客によつ

て、モーター、その他のタイプの居住環境、ベッドおよび朝食を摂るための環境、アパートやコインランドリーといった共同使用するためのエリア。

1.1 一般安全情報

この機械の用途は、水を使用しての洗濯のみとなっています。




本機に対し、ホースで水をまかないでください。

水滴により、電子機器 (およびその他のパーツ) へ損傷が発生する可能性を防止するため、初めて本機械を使用する24時間前までに、温度が室温である場所に置いてください。

1.2 商業用途専用

本書で説明されている機械製品は、商業用、業務用専用に製造されています。

1.3 記号

	注意
	注意、高電圧
	本機の使用前に説明書をお読みください

2 保証条件と例外事項

本製品の購入に保証範囲が含まれている場合、保証は、現地規制に従って提供され、かつ、意図した目的で適切な設備関連文書に記載されている目的に沿って設置および使用された本製品を対象とします。

保証は、お客様が純正の予備部品のみを使用しており、Electrolux Professional の紙版または電子版のユーザーマニュアルとメンテナンスマニュアルに従ってメンテナンスを実施した場合に適用されます。

Electrolux Professional は、最適な結果を得るため、および、製品効率を長期間維持するために、Electrolux Professional の認定を受けた洗浄剤、すすぎ剤、スケール除去剤の使用を強く推奨しています。

以下は Electrolux Professional の保証の対象ではありません。

- 本製品の配送および回収を目的とするサービス出張費
- 設置
- 使用・操作方法のトレーニング
- 摩耗した部品や破損した部品の交換（および提供）。発生から1週間以内に報告された材料不良または出来栄不良の結果として摩耗または破損した場合は保証の対象となる可能性があります。
- 外部配線の修正
- 不正修理の是正、および、以下の結果年発生した破損/障害/非効率性の修正
 - 電気システムの容量不足や容量異常（電源/電圧/周波数。スパイクや供給停止を含む）
 - 不適切な水供給/蒸気/空気/ガス（不純物や、各装置の技術要件を満たしていないその他の物質を含む）、またはこれらの中断
 - 配管部品、構成部品、またはクリーニング用の消耗品で、製造元の認可を受けていないもの
 - お客様の不注意、誤用、悪用、および、適切な設備関連文書に詳しく記載されている使用方法とお手入れ方法の不順守
 - 不適切または不十分な設置、修理、メンテナンス（認可を受けていない第三者により実行された改ざん、改造、修理を含む）、および安全システムの改造
 - オリジナルではない構成部品（消耗品、摩耗/破損品、予備部品など）の使用
 - 熱的ストレス（過剰な加熱/凍結など）または化学的ストレス（腐食/参加など）を誘発する環境条件
 - 本製品の内部にある異物、または本製品に接続されている異物
 - アクシデントや不可抗力
 - 輸送と取り扱い（かき傷、へこみ、破碎、本製品の仕上がりに対するその他の損害を含む。ただし、別段の取り決めのない限り、上記損害が材料または出来栄不良の結果として生じたものであり、納品から1週間以内に報告された場合はこれに該当しない）
- 製品のオリジナルのシリアル番号が削除されている、変更されている、またはすぐに判読できない場合
- 電球、フィルター、消耗部品の交換
- Electrolux Professional から認定も指定も受けていないアクセサリとソフトウェア

予定されているメンテナンス作業（メンテナンスに必要となる部品を含む）と、クリーニング用品は保証の対象に含まれません。ただしそれらが別途、現地の契約で扱われており、現地の利用規約の対象である場合はこれに該当しません。

正規のカスタマーケアのリストが Electrolux Professional ウェブサイトに掲載されていますのでご確認ください。

3 技術データ

3.1 図面

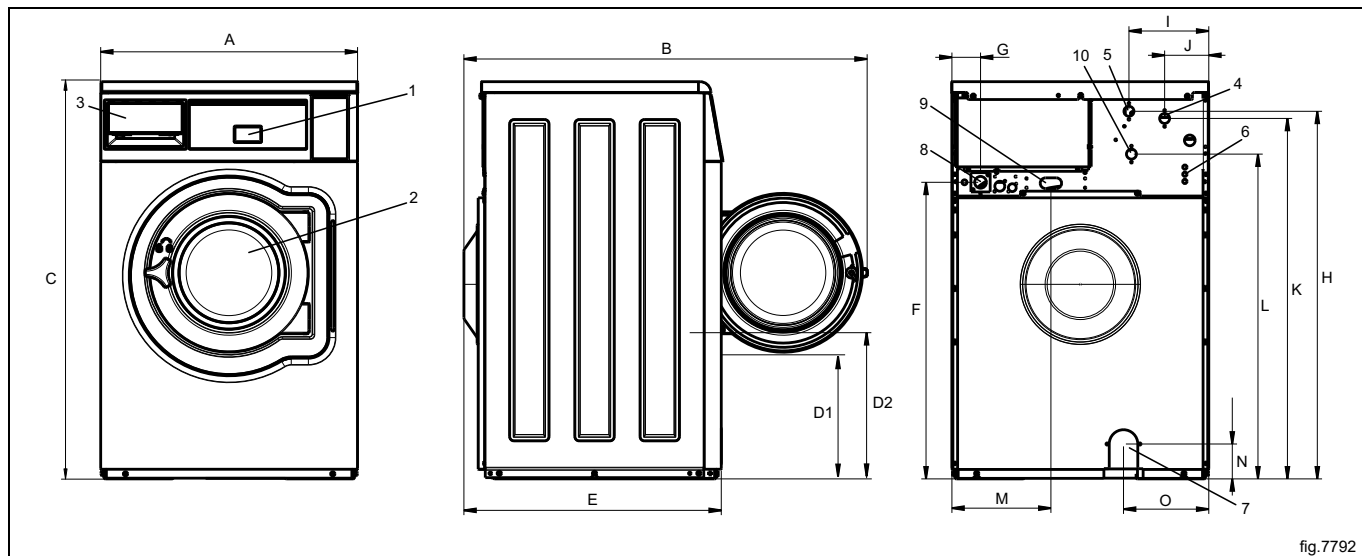


fig.7792

1	操作パネル
2	ドア開口、 ϕ 310 mm
3	洗剤コンテナ
4	給水
5	温水
6	液体洗剤投入
7	排水弁
8	電気接続
9	蒸気接続
10	再利用水

mm	A	B	C	D1	D2	E	F	G
	720	1130	1113	352	406	721	831	80

mm	H	I	J	K	L	M	N	O
	1030	224	124	1010	910	278	98	239

3.2 技術データ

本体重量 (正味)	kg	135
ドラム容積	リットル	75
ドラム直径	mm	520
洗濯時のドラム回転数	rpm	52
脱水時のドラム回転数	rpm	1015
G係数、最大		300
加熱：電気	kW	5.4
加熱：温水		x
動周波数	Hz	16.9
脱水時の最大床荷重	kN	1.4 ± 0.5
脱水時の音響パワーレベル/音圧レベル*	dB(A)	75/61
洗濯時の音響パワーレベル/音圧レベル*	dB(A)	60/46

* 音響パワーレベルはISO 60704に準拠して測定.

3.3 接続部

給水弁	DN BSP	20 3/4"
推奨水圧	kPa	150-400
連続運転圧力	kPa	50-800
300 kPa時の給水能力	l/分	16
排水弁	ø 外側 mm	50/75
排水能力 電気排水 ポンプ排水	l/分	160 30

4 設置

4.1 開梱

本機には、配達時に拡大ボルトが付属しています。

本機は輸送用パレットにボルトで固定され、木枠や箱に梱包された状態で出荷されます。

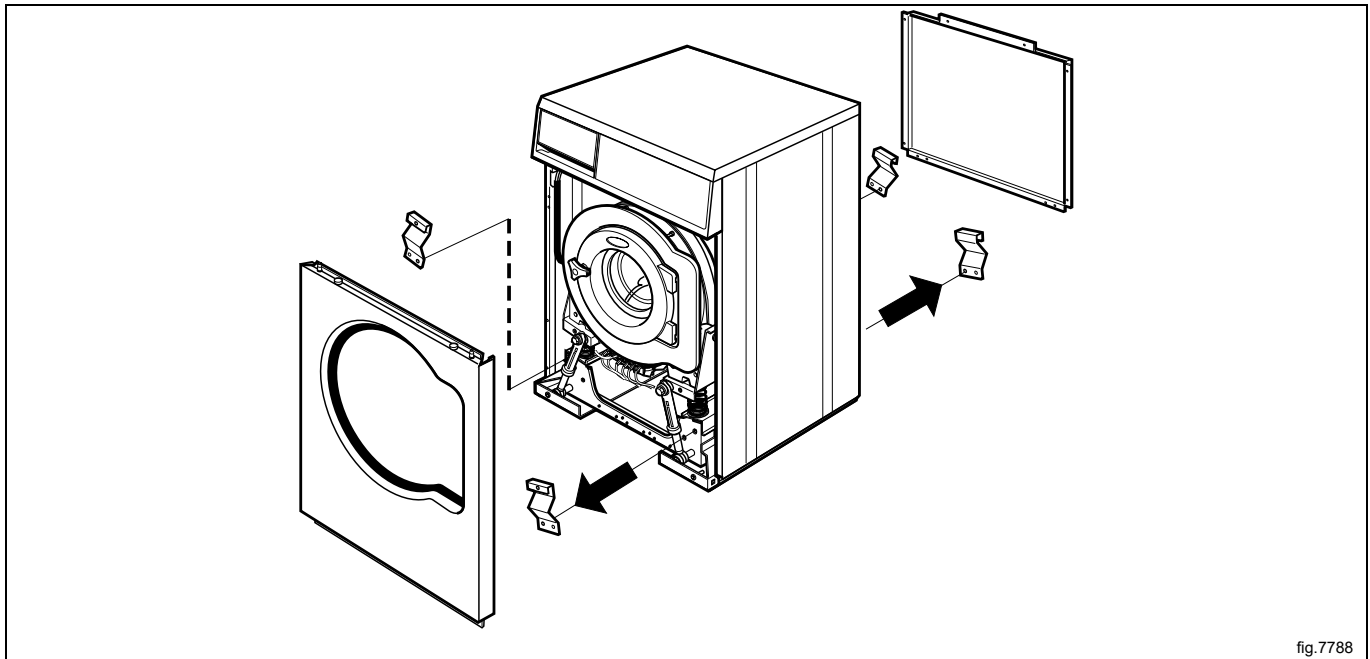
本機の梱包を解きます。

前面と後面のパネルを取り除いてください。

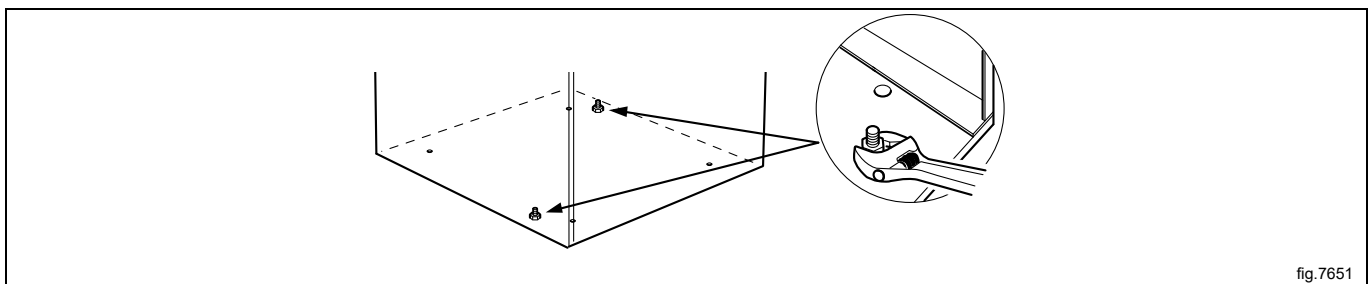
4つの運搬サポートを取り除いてください。将来機械を移動する場合に備えて、安全運搬サポートを保管してください。

注

運搬サポートを取り外したら、機械を慎重に取り扱い、サスペンションコンポーネントが損傷しないようにしてください。



本機械と運搬台をつなぐボルトを取り除いてください。機械前面の右側に1つ、その反対側の対角線上に1つ、そして機械の背面に1つのボルトがそれぞれ取り付けられています。



パレットから機械を外します。

注

機械の移動は丁寧に行ってください。本機械をフロアに置く際、背面端部のいずれも最初に床につかないようにしてください。機械のサイドパネルが損傷する恐れがあります。

本機を最終位置に設置してください。

脚部を取り付けてください。

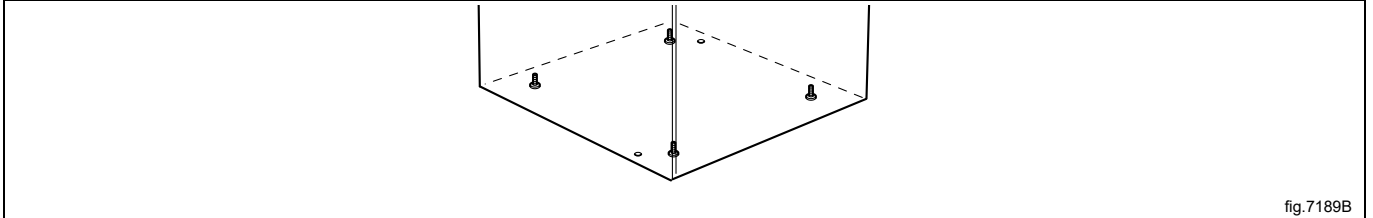


fig.7189B

パネルを再度取り付けます。

4.2 据付場所

本機を床またはオープンの排水口に近い位置に設置してください。

機械は、ご利用者とサービス担当者双方に十分な作業スペースがある場所に設置してください。

この図は、壁あるいは他の機械への最小距離を示しています。

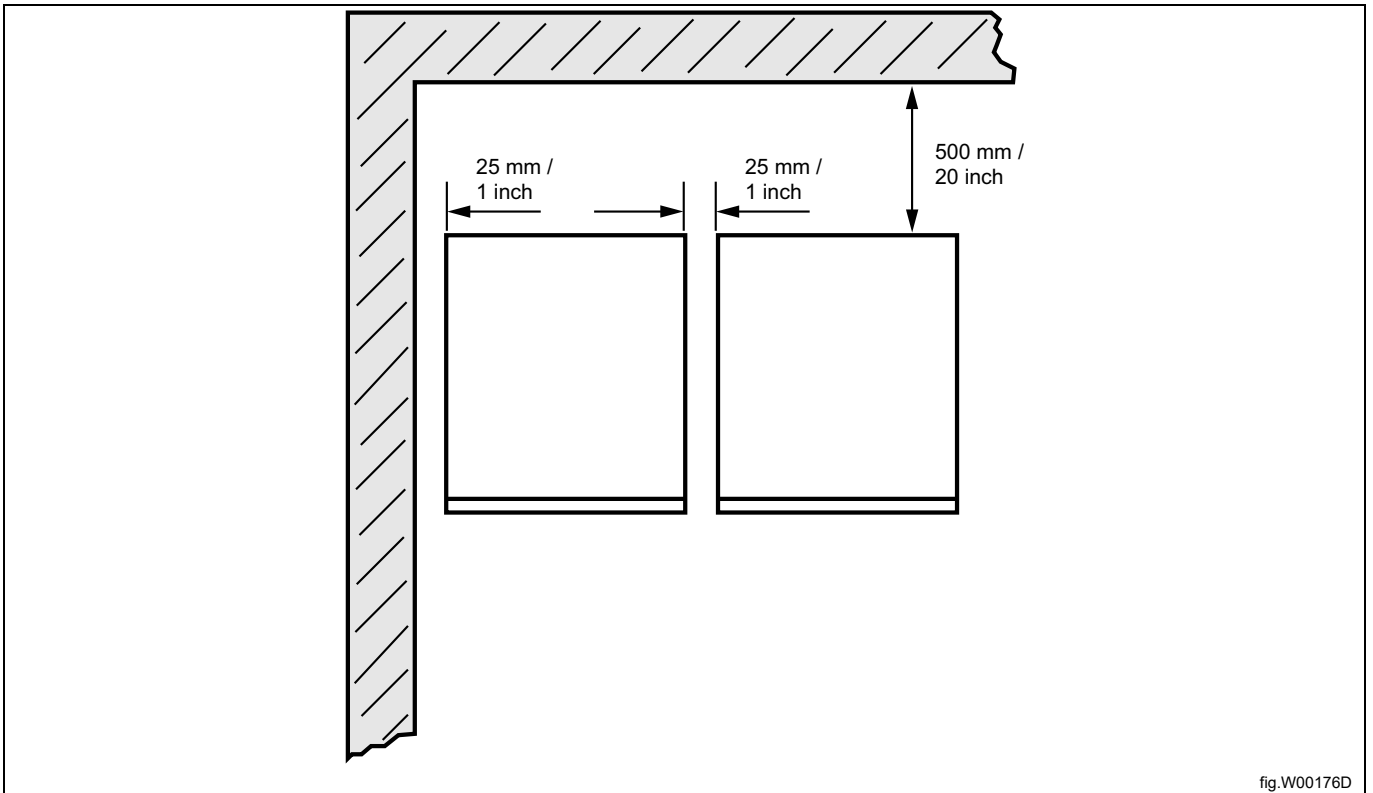


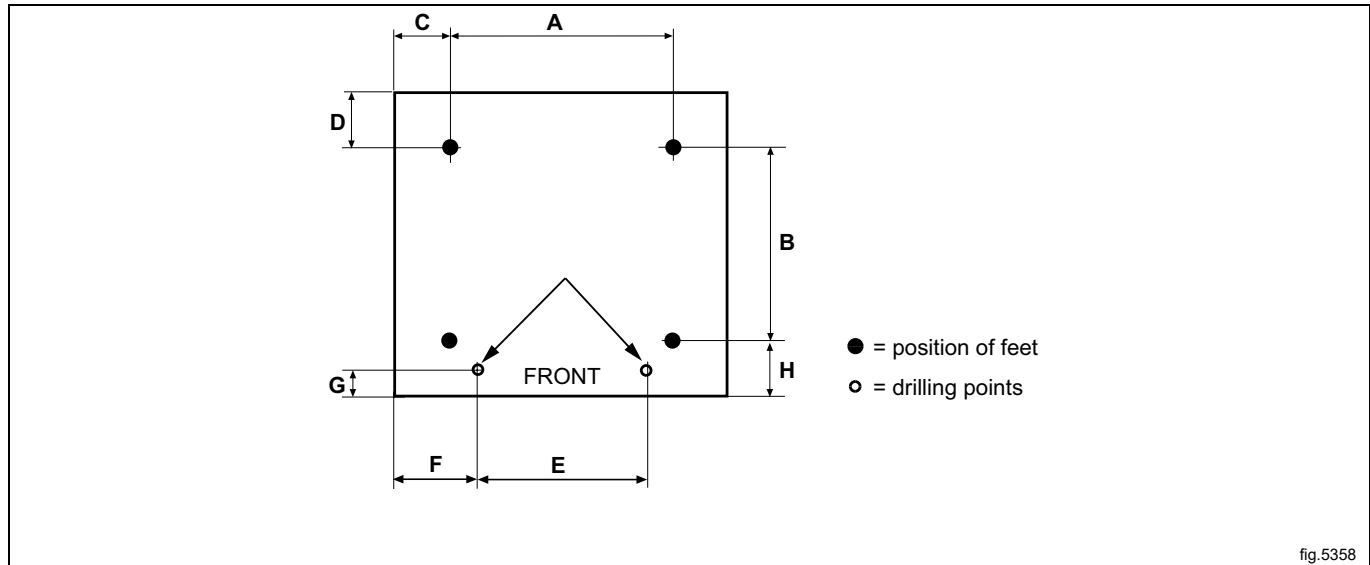
fig.W00176D

4.3 機械関連のインストール

機械を基礎に設置できない場合は、正面にしっかりと固定してください。

表には正しいドリルポイントが示されています。

図に示されているように印をつけ、ドリルで約 40 mm 深さ (φ 8 mm) の穴をふたつ開けてください。



mm	A	B	C	D	E	F	G	H
	495	460	110	130	375	170	40	100

ドリルでふたつの穴を開けた部分に本機械を配置してください。この穴は本機の前面にあります。

本機械の脚部で、水平になるよう調整してください。本機械を水平に置く前に、できるだけ脚部を該当位置に取り付けてください。これによって機械の安定性が高まります。

フロアのドリルで穴をあけた箇所に、添付の拡張ボルトを挿入してください。洗濯機とナットを取り付けて、しっかりと締めて固定します。



本機を横方向にも前後方向にも水平に取り付けることが最も重要です。本機械が水平に設置されていないと、ドラム部のバランスが保たれていても、最終的なバランスが損なわれる可能性があります。

5 給水の接続

取り付けや整備がしやすいように、本機へのすべての給水には、手動のシャットオフバルブとフィルターが必要です。

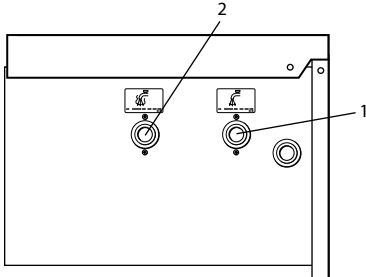
水道管やホースは接続前に水を流してきれいにしてください。

新しい給水ホースを機械に接続してください。中古の給水ホースは使用しないでください。

ホースはIEC 61770に準拠したもので、認可されたタイプとグレードでなければなりません。

インストール後、ホースはゆるやかな弧状にして掛けてください。

本機に付いているすべてのコネクタを接続します。下記の表には冷水・温水による本機械への可能な接続オプションが示されています。情報は接続部上部のパネルにも記載されています。

	水のタイプ	給水の接続
	<ul style="list-style-type: none"> 冷水と温水 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コールド 2. ホット

水圧：

最小値：50 kPa (0.5 kp/cm²)

最大値：800 kPa (8 kp/cm²)

推奨：200–600 kPa (2–6 kp/cm²)

注

水圧が最低値よりも低いと、プログラムによっては洗濯結果が保障できない場合があります。

6 排水の接続

排水弁

75 mm (または 50 mm) のパイプまたはゴムホースを本機械の排水パイプに接続し、本体からの下向きの流れを確認してください。急な角度には曲げないでください。正しい排水を妨げる場合があります。

排水管は床の排水口、排水路、またはそのようなものの上に設置します。機械本体の排水口と床の排水口との間隔は最低 25 mm 取ってください。

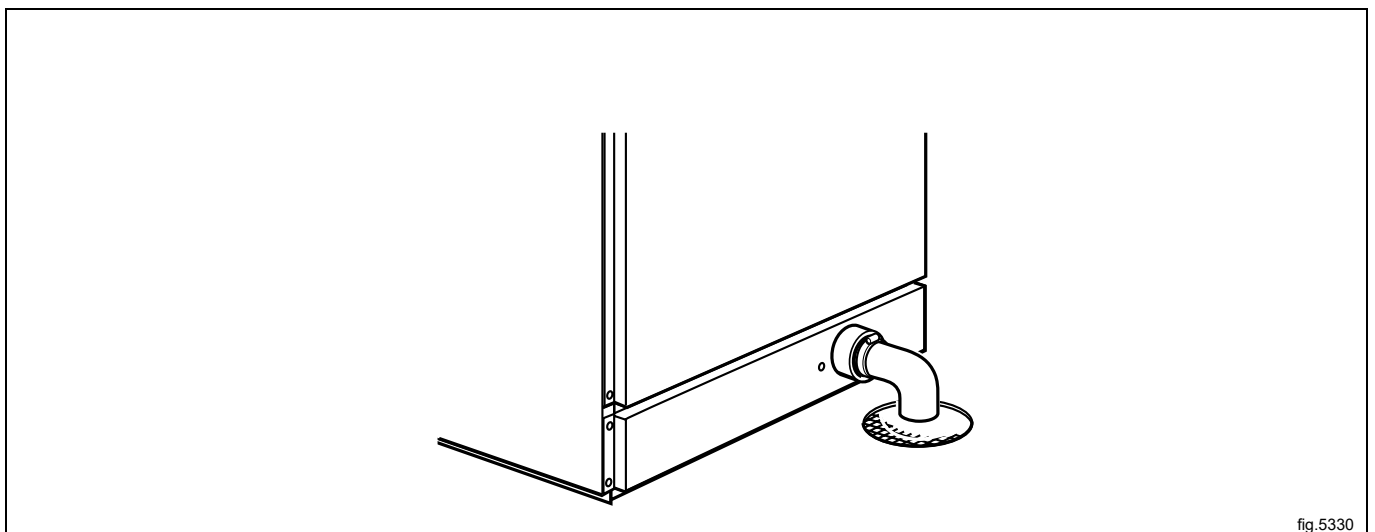


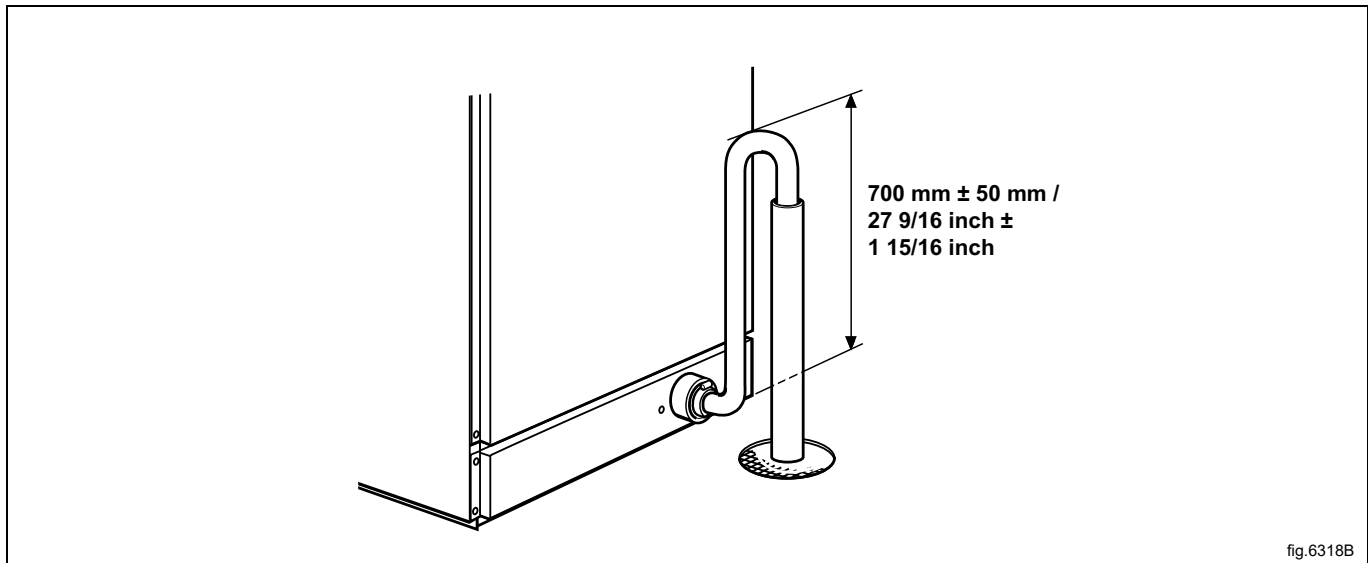
fig.5330

排水ポンプ

排水管は床の排水口、排水路、またはそのようなものの上に設置します。

図にしたがって、排水ホースの最上部を設置してください。

ホースにねじれがないことを確認してください。



7 電気接続

7.1 電気関連の据付



電気系統の据付は資格を持つ人材のみが実行できます。



周波数調整モーターが付いている機種では、一部のアース漏れ回路ブレーカーが使えない場合があります。機械は人体の安全を高度に守るよう設計されており、そのためアース漏れ回路ブレーカー等の外部機器が必要ではありませんが、推奨されることを認識することが大切です。それでもアース漏れ回路ブレーカーを介して本機を接続する場合は、次の点に注意してください。

- 技術を持つ公認の据付会社に連絡し、かならず適切なタイプのブレーカを選び、正しい寸法に作ってください。
- 操作が確実に行われるよう、アース漏れ回路ブレーカー一つにつき機械一台のみを接続してください。
- アースケーブルが正しく接続されていることが大切です。

配線規則の順守：本機の据付や点検操作の前に、マルチポールスイッチを取り付けてください。

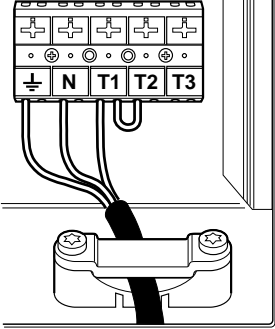
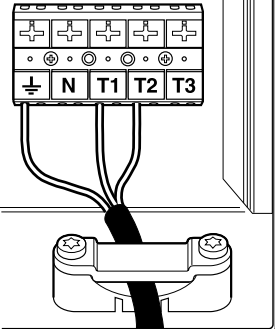
接続ケーブルはゆるやかな弧状にして掛けてください。

7.2 電気接続

加熱方式	電圧	Hz	加熱電力 kW	総電力 kW	推奨ヒューズ A
電気加熱	200V 3~	50/60	5.2/3.8	5.4/4.0	20/10
非加熱 / 蒸気加熱	200V 3~	50/60	-	1.0	10

7.3 機械の接続

図に示されている通りに、アースと2つのケーブルを接続してください。

单相接続	三相接続	
1AC 電気加熱		3AC
1AC 加熱なし		

7.4 発熱体の変換

7.4.1 380-415V 3AC から 220-240V 3AC へ変換できます。

機械の電源を切ります。

前面パネルを取り外し、発熱体のカバーを取り外します。

ブルーのケーブルを外します。

ケーブル357/BN、356/BK、358/GYを各エレメントの赤の端子から白の端子へ移動します。

カバーを発熱体に再度取り付けてから、カバーパネルを取り付けます。

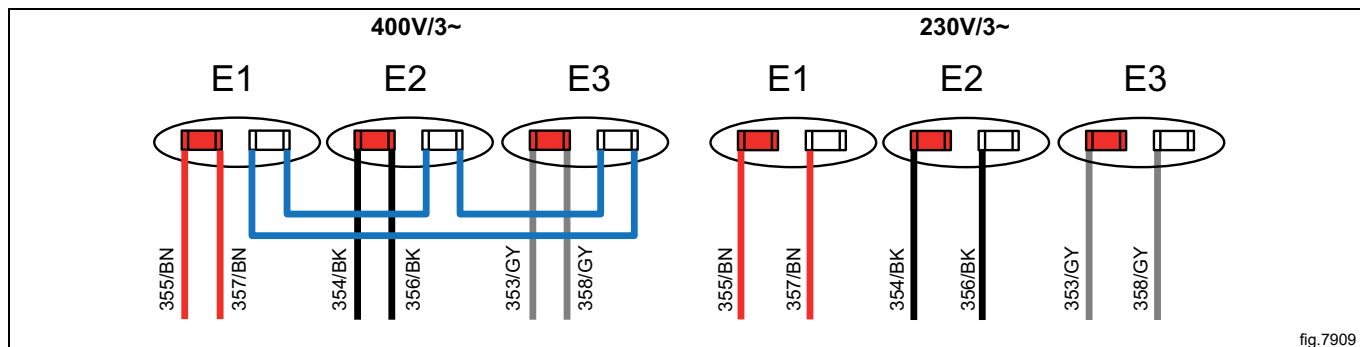


fig.7909

コンタクタのカバーパネルを外します。

コンタクタが1つの機種：

- 図のように K21 をつなぎます。

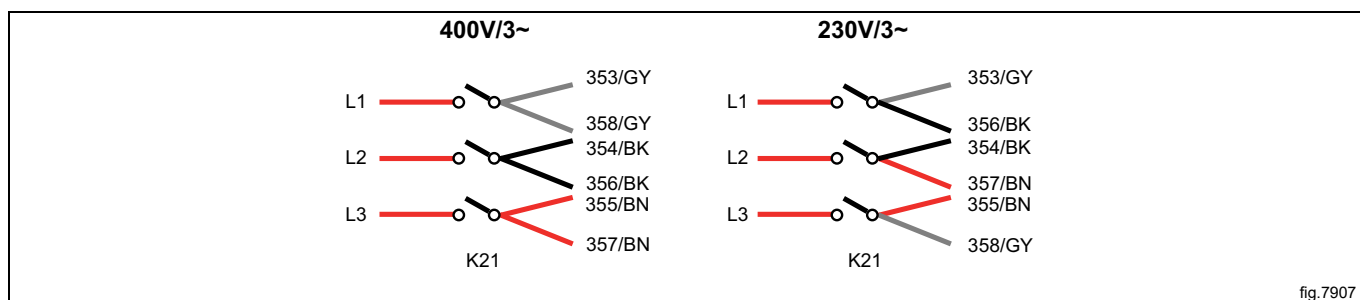


fig.7907

コンタクタが2つの機種：

- K21 をつなぐ必要はありません。
- 図のように K22 をつなぎます。

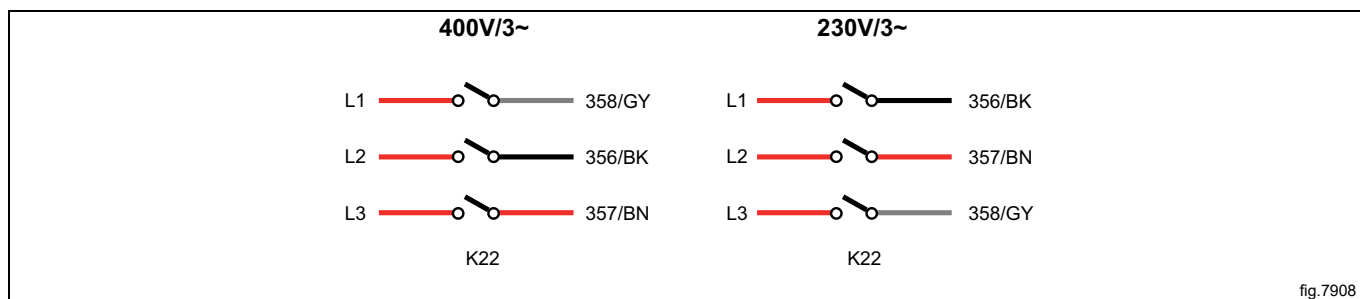


fig.7908

コンタクタにカバーパネルを取り付けます。

機械へ電源を接続します。

端末およびケーブルがすべてしっかり接続されていることを確認し、60°Cの短時間プログラムで機械をテスト稼働し、加熱することを確認してください。

7.4.2 機械は、400-415V 3AC から230-240V 1AC まで、電源を少なく変換することができます。

機械の電源を切ります。

前面パネルを取り外し、発熱体のカバーを取り外します。

ブルーのケーブルを外します。

ケーブル E1 の 357/BN、E3 の 358/GY を、各エレメントの赤の端子から白の端子へ移動します。

カバーを発熱体に再度取り付けてから、カバーパネルを取り付けます。

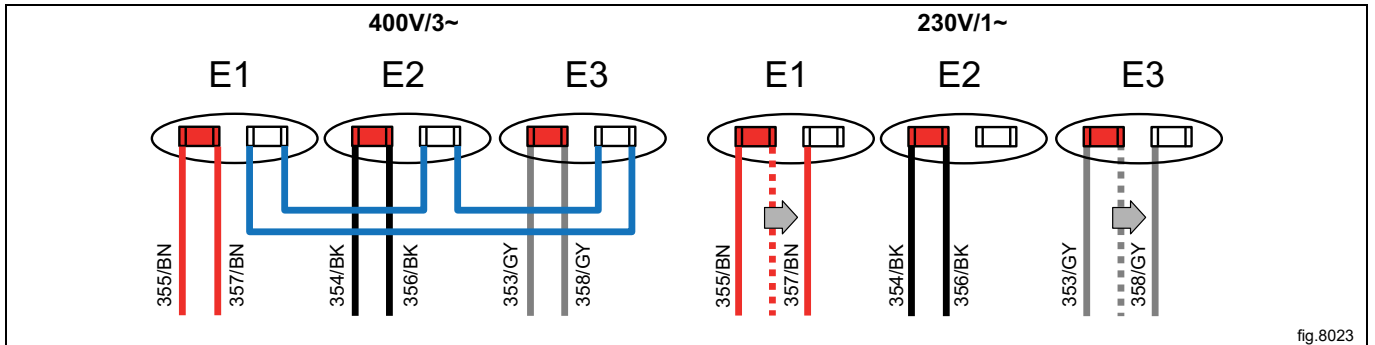


fig.8023

コンタクタのカバーパネルを外します。

- 357/BNと358/GYの位置を切り替えて、K21をつなぎます。
- メインスイッチで、L3からNまでつなぎます。

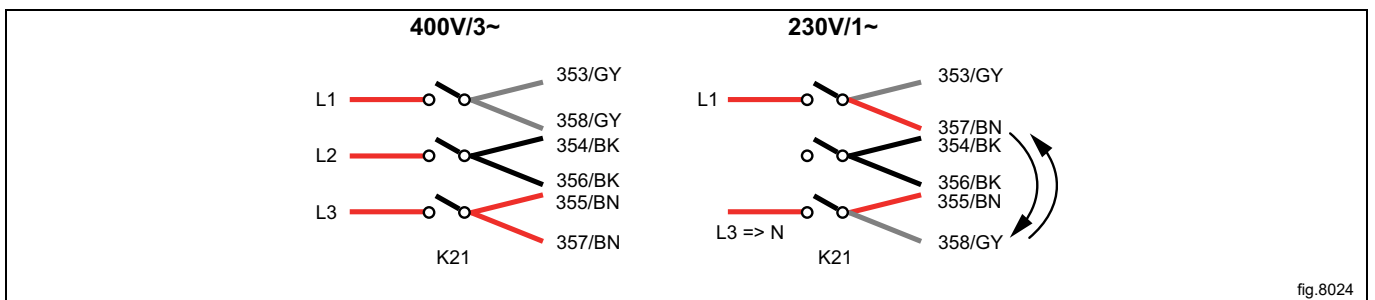


fig.8024

コンタクタにカバーパネルを取り付けます。

機械へ電源を接続します。

端末およびケーブルがすべてしっかり接続されていることを確認し、60°Cの短時間プログラムで機械をテスト稼働し、加熱することを確認してください。

8 最初の電源接続

取り付けが完了し、初めて電源を接続したら、以下を設定してください。1つの設定が完了すると、自動的に次の設定に進みます。

- 使用言語を選択してください。
- 時間と日付の設定
- サービスアラームの有効化/無効化

以下の設定に関する詳細については、プログラミングと構成マニュアルを参照してください。

8.1 使用言語を選択してください。

ディスプレイのリストから言語を選択します。

これは、すべての表示メッセージ、プログラム名などが示される言語です。

8.2 時間と日付の設定

1/1を選択し、コントロールノブを押して、メニュー2/時間/ヒツケへ進みます。

2/時間/ヒツケメニューを有効にし、正確な時間を設定します。

設定を保存します。

3/ヒツケ/ヒツケメニューを有効にし、正確な日付を設定します。まず、年を設定することから始めます。

- 年を設定します。コントロールノブを長く押して、終了します。
- 月を設定します。コントロールノブを長く押して、終了します。
- 日付を設定します。コントロールノブを長く押して終了し、コントロールノブを長く押して保存します。完了したらメニューを終了します。

9 機能確認



資格のない人は作業しないでください。



設置の完了後、機械の使用前に機能点検を実施することが必要です。

手動給水弁を開きます。

プログラムのスタート

- ドラムが普通に回転していて、異常音がしないことを検査します。
- 給排水接続部に漏れがないことを検査します。
- 水が洗剤ボックスを通過することを検査します。
- プログラムの進行中はドアが開かないことを検査します。

使用準備完了

テストがすべて問題なければ、機械を使う準備が整いました。

テストで問題が生じたり、欠陥やエラーが検出された場合は、最寄のサービス拠点または取扱店にご連絡ください。

10 廃棄に関する情報

10.1 本機の耐用年数終了時の廃棄

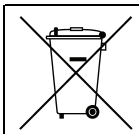
装置を処分する前に、廃棄作業中に、その物理的状態、特に構造部分のパーツの曲がりやたわみ、破損などを注意深くチェックしてください。

本機の部品は、部品ごとの異なる材質（金属、オイル、グリース、プラスチック、ラバーなど）により分別廃棄する必要があります。

施行されている法律は各国で異なるので、装置の解体を実施する国の法規定、および管轄権を有する機関に準拠してください。

通常、本機は専門の収集・廃棄センターに持ち込む必要があります。

本機を分解し、部品やコンポーネントを化学的特性に基づいて取りまとめてください。この場合、コンプレッサーには潤滑油と冷媒が含まれていること、そしてそれらは再生できることを覚えておいてください。またクーラーとヒートポンプコンポーネントは、一般廃棄物と一緒に廃棄できる特別廃棄物であることも覚えておいてください。



製品に付されている記号は、本製品が一般廃棄物として取り扱うことができないことを示しており、そのため環境および人体に悪影響を及ぼすことを防止するために正しく破棄する必要があります。本製品の再生に関する詳細は、お近くのディーラーや代理店、カスタマーケアサービス、または廃棄物に関する地方団体にお問い合わせください。




注

装置の処分時に、すべてのマーキング、本マニュアル、その他装置に関する書類を破壊する必要があります。

10.2 梱包材の廃棄

梱包は、装置の使用国における現行法規に従って廃棄する必要があります。全ての梱包材は環境に優しい材料を使用しています。

製品は適切なごみ焼却場において、安全に保管、再生、焼却されます。再生可能なプラスチック部品は、次のような印が付されています。

	ポリエチレン： ・ 外装 ・ 説明書の入った袋
	ポリプロピレン： ・ ストラップ
	発泡スチロール： ・ 角の保護



Electrolux Professional AB
341 80 Ljungby, Sweden
www.electroluxprofessional.com